

■いまこそ、子どもたちへ「とびっきりの1冊」を！

### 臨時休校中の子どもたちに読書のすすめ — 図書無料宅配や「家読」に取り組んだ公共図書館の志

家読推進プロジェクト代表 佐川 二亮

2020年2月27日、政府は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月2日から春休みまで全国小中高校と特別支援学校に臨時休校を要請した。翌28日、感染拡大が深刻な状況を迎えた北海道では「新型コロナウイルス緊急事態宣言」が発表され、道民の週末外出自粛が呼びかけられた。

突然の一斉休校は子どもたちと保護者、学校や自治体で大混乱を招いた。家に閉じこめられた子どもたちは日を過ごすことに学習への不安や生活リズムの変化でストレスを抱え、さらに一日の多くの時間がゲームやスマホなどに費やされ、家族の不安も高まる一方である。そんな子どもたちや家族に読書

のすすめをと行動を起こした公共図書館や地域の子ども園がある。とくに緊急事態宣言下の北海道の図書館は敏感な動きをみせた。

#### ●無料宅配に取り組んだ図書館

こんなときだからこそと羅臼町教育委員会と羅臼町図書館が取り組んだのが、おこもり上手プログラム「君たちの心と体を守りたい」事業。その事業の一環で3月2日から10日(26日まで延長)まで無料の「図書宅配サービス」を受けつけた。家に閉じこもっている子どもたちや家族に読書の楽しさを届けようというねらい。対象は0歳〜18歳の子どもがいる家庭。20冊まで1か月間貸し出した。生活

習慣に読書習慣を結びつけようと「家族で読書登山」記録リーフレットも添えた。宅配利用で、返却は図書館再開後に持参。

根室市図書館は3月5日から15日(4月5日まで延長)まで「子ども向け宅配サービス」を実施。臨時休校中の児童・生徒と乳幼児の読書環境を整えることが目的で、どんな本を読んでもいいのかわからない、という子どもや保護者には職員がていねいにアドバイ

ス。年齢や希望にあわせたセットも用意。貸出はひとり10冊までで期間は2週間。配送と返却は図書館の公用車対応。3月24日までに74件58冊の申し込みがあった。南幌町生涯学習センター図書室

も3月11日から19日に「子ども向け図書宅配サービス」を実施。在宅時間が長くなっている児童・生徒の家庭に読書機会の確保と充実を図ることが目的。1回10冊以内で貸出期間2週間。図書は職員が直接自宅に届けるシステム。返却に要する費用は利用者負担。

「家読」推進に力を入れている栗山町図書館も、子どもたちに安心・安全な読書環境を提供しようと、子ども向け図書宅配サービス「ここにこッパメ便」を3月12日から19日まで実施。0歳〜15歳児がいる家庭が対象。図書は無料で郵送。返却は直接か郵送の場合は利用者負担。

以上はいずれも北海道内の図書館(室)の事例であるが、それぞれの図書館のホームページで選書し、電話やFAX・メールなどで申し込む。貸出本は事前と事後にアルコールで消毒。各館の非常時宅配無料サービスはたいへん好評だったようだ。

#### ●今だからこそ「家読」のすすめ

休校中の子どもたちと家族への読書提案として「家読のすすめ」に取り組んだ事例も紹介したい。ツルの渡来地として知られる鹿児島県出水市教育委員会は、「こ



【上】北海道：羅臼町教育委員会・羅臼町図書館「こんな時だからこそ君たちの心と体を守りたい」チラシ  
【下】福島県：平田村立小平こども園「お出かけできない今だからこそ！家族でうちどく宣言！」チラシ



平田村立小平こども園  
令和2年3月11日